



# 病院だより



令和6年7月1日 発行:公立福生病院 経営企画課 経営企画係 住 所:東京都福生市加美平1-6-1 <https://www.fussahp.jp>

## 公立福生病院公式Instagram(インスタグラム) を開設いたしました

当院若手職員の有志によるSNSTeam（ソーシャルネットワーキングサービスチーム）が発足され、令和6年5月10日より公式 Instagram (インスタグラム)を開設しました。今後は当院の紹介、様々な部署による業務紹介、業務以外の活動その他、多くの方に当院の様子をご覧いただけるよう発信していきます。Instagram (インスタグラム)をご利用されている方、これからご利用される方はぜひご覧ください。

※SNS(ソーシャルネットワーキング サービス)とは、登録した利用者だけが参加できるインターネットの Web サイトのことを言います。総務省ホームページ「国民のためのサイバーセキュリティサイト」の用語集より

### 検索方法

- ① Instagram のアプリをダウンロード
- ② Instagram で、公立福生病院公式 Instagram (@FUSSA\_HOSPITAL) を検索し、フォロー



fussa\_hospital

1 投稿 19 フォロワー 0 フォロー中

公立福生病院 (Fussa hospital)

公立福生病院の公式Instagramです  
病院紹介やリクルート情報を発信中♪  
当ページでのお問い合わせ、DMやコメントは受け付けておりませんのでご了承ください!  
東京都福生市加美平1-6-1  
福生駅徒歩7分  
一緒に働く仲間を募集中  
[www.fussahp.jp/index.html](http://www.fussahp.jp/index.html)

FUSSA\_HOSPITAL 投稿

# Instagram

はじめました

いいね! 10件

fussa\_hospital 福生病院インスタグラム開設!

公立福生病院公式インスタグラムを開設しました!

写真に載っておりますスタッフを中心に、院内の様子や当院で働く職員の様子をガンバって発信していきたいと思います!

ぜひ、フォローお願いします!

# 公立福生病院施設・設備長寿命化計画の策定について

国や地方公共団体等では、公共施設が今後大量に大規模改修や建替を迎えることから、政府において平成25年11月、「インフラ長寿命化基本計画」が取りまとめられ、厚生労働省からは病院施設の維持管理について、「医療施設におけるインフラ長寿命化計画(個別施設計画)策定のためのガイドライン」が示されました。一方で、令和4年3月に総務省による「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」が示され、「施設・設備の最適化」に取り組むことで病院経営を強化していくことが求められました。これらをうけ、医療施設の老朽化状況、維持管理・更新等の具体的な方針やコスト管理を取りまとめた「公立福生病院施設・設備長寿命化計画」を策定しました。

## 背景・目的等

### (1)背景

- 公立福生病院は、旧病院を取り壊し同敷地に新病院を建て直し、平成20年10月第1期開院、続く平成22年2月フルオープンとなり、現在の316床(一般急性期病棟271床、地域包括ケア病棟45床)となりました。令和2年4月に地方公営企業法の全部適用となり、病院設置主体を福生病院組合から福生病院企業団へと変更しています。当院は、構成市町を含む4市3町1村からなる2次保健医療圏である西多摩保健医療圏に所在しています。
- 当院は地域の急性期医療を担う中核病院として、地域医療の確保と医療水準の向上に努め、地域住民に安全・安心で質の高い医療を継続して提供する役割を担っていますが、新病院建設から15年近くが経過し、外壁のひび割れや配管の劣化等の老朽化が進んでいます。
- 今後、急速に進む人口減少や高齢社会の進展等、さらに厳しさを増す社会経済情勢を踏まえ、限られた予算の中で必要な病院機能を維持していくためには、様々な工夫を凝らし、的確に維持管理・更新等を行うことで中長期的な予算の平準化や維持管理コストを必要最低限に抑えることが重要であると考えます。

### (2)目的

- 「公立福生病院施設・設備長寿命化計画」(以下、「本計画」という。)は、(1)背景を踏まえ、施設の現状を把握した上で必要な点検箇所や修繕計画を明確にすることで、施設の長寿命化を図るとともに、概ねの目標使用年数を設定することにより、維持管理・設備更新等を計画的に実施し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を実現することにより、安全・安心な施設環境を確保することを目的とします。

### (3)計画期間

- 本計画は可能な限り計画期間の長期化を図ることで、中長期的な維持管理・更新等に係るコストの見通しを可視化するため、令和6(2024)年度から令和30(2048)年度の25年間(病院用の法定耐用年数は39年であり、すでに建設から15年経過しているため、計画期間を25年間と設定)とし、5年程度を目安に本計画の更新を検討することとします。

### (4)対象施設

- 本計画書の対象施設は、病院棟、立体駐車場、外構を対象とします。

## 施設の現状

### (1)基本情報

建物名	公立福生病院[病院棟]	用途	病院
所在地	東京都福生市加美平一丁目6番地1	建築面積	6,025.86 m <sup>2</sup>
竣工年	1期開院平成20年(2008年) フルオープン平成22年(2010年)	延床面積	28,975.84m <sup>2</sup>
構造・階数	CFT 鉄骨造一部SRC造／地下1階 地上8階 塔屋1階 免震構造		
主要外装	屋根・屋上 露出アスファルト防水・アスファルト保護防水(一部タイル張り・ウッドデッキ・砂利敷き) 外壁 セラミックタイル・吹付タイル・アルミニウムサッシ・焼付塗装・アルミルーバー 建具 アルミ製建具・鋼製建具		
主要内装	室名 病室 床 ビニール床シート 壁 ビニールクロス 天井 岩綿吸音板	廊下 タイルカーペット ビニールクロス 岩綿吸音板	

建物名	立体駐車場	用途	駐車場
所在地	東京都福生市加美平一丁目6番地1	建築面積	2,190.34 m <sup>2</sup>
竣工年	1期開院平成20年(2008年) フルオープン平成22年(2010年)	延床面積	6,357.62m <sup>2</sup>
	S造／地上3階 塔屋1階構造 306台(うち車いす対応12台)		
主要外装	屋根・屋上 塗膜防水 外壁 吹付タイル・折板・エキスパンドメタル 建具 アルミ製建具		
主要内装	室名 駐車場 床 塗床 壁 折版 天井 テッキプレート	EVホール 塗床 吹付タイル 塗装	

### (2)運営状況、課題等

- 収支状況  
平成30年度から令和元年度までは費用が収益を上回る赤字で厳しい財政状況でした。令和2年度から令和4年度までは新型コロナウイルスに係る補助金収入により一時的に財政状況が好転しましたが、当該補助金収入が見込めなくなると、再び赤字に戻る厳しい状況に変わりありません。
- 修繕費  
修繕費の縮減に努め、ここ数年は低減していますが、建物緊急修繕の割合が高い状況です。厳しい財政状況下、限られた予算をより適正に配分するためには、今後は、予防保全を定着させ、予定修繕による平準化を図る必要があります。
- 光熱費  
平成30年度から令和3年度までは、ほぼ横ばいでいたが、世界情勢の変化による燃料費の高騰により令和4年度は大きく上昇しました。節約に努めることはもちろんのこと、このような世界情勢の変化の影響を受けにくくするような機器への切替やそれらを活用したコスト削減手法も検討していく必要があります。

### (3)老朽化状況と過去の点検、修繕作業等の履歴

#### ● 評価基準

建築、電気設備、給排水衛生設備、空調換気設備の各部位部材を評価しています。具体的には、劣化度は各部位部材の目視状況、緊急度は、各部位部材の全面的な改修年から経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価しました。評価基準は下記のとおりです。

劣化度	建築に係る有資格者が外観目視により、破損、大きな亀裂、発錆による顯著な腐食などが見られ、安全上、構造上問題があると判断したもの		劣化程度に対する考え方
	A	B	
C	修繕が必要	安全上、構造上の不具合発生の兆しがある。	
D	修繕が必要な箇所が多い	安全上、構造上の問題がある。	

緊急度 (一財)建築保全センター及び(公社)ロングライフビル推進協会が定める各部耐用年数に照らし、耐用年数が残り少ないものが緊急度D(緊急)、残り年数が多いものが緊急度A(良好)としています。

劣化度	建築に係る有資格者が外観目視により、破損、大きな亀裂、発錆による顯著な腐食などが見られ、安全上、構造上問題があると判断したもの		劣化程度に対する考え方
	A	B	
C	修繕の必要なし	日常点検で管理可能である。	
D	中期(15年以内)での対応	中期での修繕が必要だが、当面は軽微な維持管理で対応可能である。	
E	短期(5年以内)での対応	重大な事故につながる恐れはないが、部分的な修繕が必要である。	
F	早急な対応	重大な事故につながる恐れがあり、緊急的な対応が必要である。	

#### ● 点検作業の実施

#### ● 修繕作業の実施

#### ● 現況を踏まえた課題

建築は、劣化の進行と思われる部材の浮き・剥がれ・ひび割れ・硬化・亀裂・破損・汚損等が見られます。電気設備は、屋外機器に発錆や塗装退色が見られます。衛生設備は、1階受水槽置場の機器類に結露による錆や腐食・配管保温材の汚れや破損が見られます。特に揚水ポンプは、錆・腐食が著しい状態です。空調設備は各所でファンコイルユニットからの水漏れ、錆・カビの発生、天井ボードの漏水跡等外観目視上からは判断できない経年劣化が懸念される状況です。主要空調機器類は、24時間365日稼働しているため、機器の故障頻度が高くなっていると考察されます。病院という施設の特性上、故障や停止が許されない機器であり、注意深い維持管理点検により状況を把握するとともに早期の更新を実施する必要があります。搬送設備は、エレベーター7号機が停止時にかご敷居の段差が大きく、安全上の理由により、現状、配膳等の工夫を行い暫定的に使用を停止しています。

## 長寿命化計画の基本的な方針

### (1)修繕等の基本的な方針

- 目標使用年数は、部位部材の物理的、経済的、社会的な耐用年数とは異なり、計画的な保全を実施するために設定するもので、建物の劣化や老朽化を踏まえ、これらの耐用年数を総合的に評価して概ねの時期を設定します。

### (2)目標使用年数

施設名	法定耐用年数	目標使用年数	設定理由
公立福生病院	39	55	物理的耐用年数における望ましい目標耐用年数の代表値である60年から、医療要求水準の変化により機能的耐用年数が短くなる可能性を考慮し、5年を減じて設定する。
立体駐車場	45	60	物理的耐用年数の望ましい目標耐用年数の代表値で設定。

### (3)優先順位付け

- 修繕等の優先順位については、劣化度調査結果(A～D)によるハード面(施設の老朽化度)の評価と各部位・機器等の経過年数による緊急度判定結果(A～D)の双方を踏まえ決定するものとします。

## 実施計画

### (1)点検・診断の実施計画

- 法令で義務付けられているもの、日常的に必要となる点検等について、各施設の点検を診断周期に基づき実施します。

### (2)修繕等の実施計画

- 令和10(2028)年度より10年毎に大規模な修繕等を実施する必要がありますが、大規模な工事により、病院機能の停止や患者・病院利用者への利用制限等が発生する恐れがあります。今後、修繕等の計画を実施していくにあたり、それらの発生を極力避けるため、施設の状態と目標耐用年数を考慮した予防保全運用を行うことで、施設の不具合による被害リスクの緩和を図ります。

### (3)削減効果額

- 法定耐用年数に対し、建物部位、及び各設備の目標耐用年数を設定し、削減効果額の算定を行いました。  
今後25年間ににおける各種機器等の更新について、法定耐用年数に基づいて実施した場合と目標耐用年数に基づいて実施した場合の差額(長寿命化対策等による削減効果額)は7,329百万円程度となる見込みです。

### (4)実施計画の運用方針

- 本計画は、5年を目安に全体的な見直しの検討を行うほか、必要に応じて最新の情報に更新し、新たな課題等が生じた場合には、それらを解決するための対応方針を実施計画に反映します。

担当：事務部経理課

# 能登半島地震の被災地支援のため、当院職員を派遣しました

## ～被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます～

### 看護部看護科主任 外来勤務 近藤 由香

【派遣先】恵寿総合病院【派遣期間】3月17日～3月23日

全国自治体病院協議会からの看護師派遣依頼により、令和6年3月17日～3月23日の7日間、石川県七尾市の恵寿総合病院へ出向してまいりました。病院へ到着すると、他病院(東京都・埼玉県・千葉県から各1名、広島県から2名)から派遣された看護師5名との顔合わせのあと、副看護部長より院内の案内や、私達が生活する場所を含めたオリエンテーションがありました。病院内の1室(4人部屋)と個室2部屋が私たちの生活スペースとして開放されました。

#### <ライフライン>

病院内の生活は、電気・水道・ガスと整っており、患者用のシャワー室や浴室を借りることもできました。物資も満たされており、私たちの生活スペースや看護師の休憩室には「ご自由にお召し上がりください」とメモが置かれたカップラーメンなどの非常食が設置されていました。大浴場があり、患者家族や院内職員の家族も利用することができます。未だに災害によって入浴が出来ない方々のためにも時間等の制限はありましたが、院外の方も利用できるように開放されていました。コンビニエンスストアやスーパーも営業し、品物も取りそろえてでしたが、一歩外に出ると地震による被害の大きさを目の当たりにすることもありました。



#### <病棟勤務>

看護師派遣の勤務内容は、病棟勤務でした。慣れない環境でシステム上の戸惑いもありましたが、1週間の限られた支援のため、細かいことにこだわりすぎずに、看護師として安全に責務を果たすことを心がけました。私自身、この歳(50代)になってもお役に立てるのか心配だったのですが、『臨機応変な対応』と『現場が望んでいることを見つけ、手間をとらせない』ことを意識して行動しました。今までの看護師経験を少しでも発揮し、力になれるように努め、「郷に入っては郷に従え」の気持ちで柔軟に対応したことが少しでもお役に立てたのであれば嬉しい限りです。

#### <入院患者のことば>

「輪島の自宅で、家族で集まっていた時に地震が来た。無我夢中で逃げて、あとからあざを見つけた。」

「入院中に頭も洗いたいけど、あのとき(被災)を思えば、少しぐらい我慢しなくちゃ。」

被災から2ヶ月を経過していたが、心の傷を抱えながら入院治療を受け、我慢することも多いことを知りました。私は、タイミングを見つけ、その患者さんの洗髪を行いました。「気持ちがよかつたわ。あなたが来てくれて本当によかったです。あなたも楽しそうに仕事していたわよ。」と逆に元気を頂きました。

#### <おわりに>

恵寿総合病院では、職員自身も被災者でありながら、被災地の患者を積極的に受け入れ、多職種で協力しながら病院を支えていました。医療従事者や関連する皆様にエールを送りたいと思います。また、被災地への派遣調整や勤務調整をしていただきました全ての皆様、応援していただいた関係者の皆さんには、貴重な体験をさせて頂いたことを、心より感謝します。

